

# 都中英研だより

第 57 号

東京都中学校英語教育研究会  
会 長 井 田 宗 宏  
(東大和市立第二中学校長)

## 変革期の英語教育を創る

東京都中学校英語教育研究会  
会 長 井 田 宗 宏

5月8日の都中英研定期総会で前会長備里川正人先生より、都中英研の会長を受け継ぎました井田宗宏と申します。六十数年の歴史と伝統のある、この都中英研のことを考えますと、身の引き締まる思いでいっぱいになります。

これまで培われてきた財産を受け継ぎ、さらに発展できればと思います。微力ではありますが、会員の皆様とともに、変革期にある中学校英語教育の中で、共に歩を進めることができると考えています。

これまで私が長年、都中英研でお世話になる中で、諸先輩方から教えをいただいたことは、「まず自分の学校を、子どもたちを大切に、なおかつ人一倍、英語教育にあつい情熱を持ち、都中英研でともにやりましょう。」という言葉でした。

折しも、平成24年度から中学校では、新教育課程が全面実施されます。中学校英語は、すべての教科の中で最も時数が多くなります。しかし週4時間だと諸手を挙げて喜んでばかりいられません。これを軌道に乗せるためには、これまで以上に英語科教員の一人一人の力量が試されることとなります。

今年度からの移行期においては、4技能を総合的に育成する指導のあり方や文法指導と言語活動を一体的に行う指導の工夫、さらにはコミュニケーション活動についても新たな素地の育成が求められています。

さらに来年度開催される関東ブロック東京大会に向けて、具体的な準備を推し進めなければなりません。関ブロの歴史をひもときますと、古い話になりますが、昭和59年、第8回、関東ブロック東京大会が江東区を中心に開催されました。当時の嶋田進会長先生は、「都中英研発足50周年記念誌」の中で、東京がやっと仲間入り出来たという趣旨のコメントを載せられています。

今もそうですが、当時は、全英連とのからみで、東京は関ブロが免除されてきましたが、他県からの強い要請で引き受けざるを得なかったようです。

同じような状況が今年、東京にあります。今年度、全英連大会は東京を会場に開催されます。都中英研には毎年のように大きな負荷がかけているようですが、その積み重ねで、東京の中学校英語教育の基盤は一層強固なものになることを信じています。



東京独自の開催方式で、ぜひ成功に導いていきたいと考えております。昨年度実施した、各地区部長会、幹事会では60名近い参加者があり、確かな手応えを感じ取ることができました。

都中英研の各種の事業には、毎回、多くの英語科教員が参加しています。今年度も、この期待に添えるように、着実に一歩ずつ前進できる都中英研にできればと考えています。

今年度は、行動目標を以下のように一部変更しました。「新学習指導要領移行措置期間に入り、その趣旨を踏まえ、円滑に全面実施できるように研究を推進する。」という表現で、移行期を具体的に乗り切るために調査・研究をより一層活発にするようにいたします。

また、次年度開催予定の関ブロ東京大会に向けて、これまで準備委員会の形式で毎月進めてまいりましたが、正式に実行委員会を立ち上げ、研究大会の具体的な構想に着手いたします。

今年度、都内には624校の中学校があります。英語科の教員は二千名近くに上ります。一校一校との連携を深め、英語教育への熱い理念と具体的な方策を持って、多くの課題解決に向けて絶えず研修・研究に励む組織でありたいと考えます。

都中英研では、日々研鑽に励まれている先生方のために精一杯の活動を展開してまいります。情報の発信だけに終わることなく、英語科教員相互のネットワーク作りにも丁寧に対応していく所存でいます。

会員の皆様におかれましては、学校を取り巻く環境が一層厳しくなる中ではありますが、今後とも一層連携を深め、東京都の英語教育の充実に向けて、共に歩んでいきたいと思っております。何とぞ、よろしくご願ひ申し上げます。

## 平成21年度 都中英研総会

平成21年度の都中英研総会が、5月8日(金)に、豊島区立南大塚地域文化創造館にて開催されました。備里川正人前会長の挨拶、平成20年度の各部の事業報告、決算報告に続き、平成21年度の役員選出と承認がなされ、井田宗宏新会長はじめ新役員が別掲のように決まりました。そして、平成21年度の事業計画案および予算案が提案され、承認されました。各部の事業計画のあらましをご紹介します。



## 平成21年度 中英研年間事業計画

中英研では英語教育の振興を図ることを目標に、次のような事業を実施しています。指導技術や識見の向上を目指し、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

### 総務部

定期総会の運営(5月8日)  
全英連中学校部会の運営補助(7月29日)  
中英研各地部区長・幹事会の開催(8月24日)  
関プロ埼玉大会に関する事務  
各部の事業への運営補助

### 経理部

都中英研事業に係る会計事務

### 事業部

定期総会の運営(5月8日)  
サマーワークショップの開催(8月20日)  
授業力アップ研修会の開催  
英語学芸大会の開催(12月6日)

### 調査部

コミュニケーションテストの作成・実施・  
処理・分析・報告書作成(後述参照)

### 研究部

夏休みの語い指導ワークショップの開催  
(7月27日、8月6日、8月18日)  
公開授業および研究発表会の開催

### 出版部

「都中英研だより」第57号の発行(7月)  
「都中英研だより」第58号の発行(11月)  
「都中英研会報」第68号の発行(3月)  
都中英研ホームページの更新補助

### プロジェクト・チーム(P.T)部

研究活動(文献研究・授業研究・授業分析)

都中英研では、平成22年11月12日に開催される「第34回 関東甲信地区中学校英語教育研究協議会(関プロ)東京大会」の準備を進めています。そのため、月例の役員会は「関プロ東京大会実行委員会」も兼ねて協議しています。なお、大会会長には井田宗宏中英研会長が、実行委員長には竹下賢同副会長が、事務局長には飯島光正同副会長がそれぞれ選出されました。

## 研究会・協議会

夏季全英連中学校部会 7月29日(水) 13:30~17:00 講師:平木 裕先生  
会 場:北とびあ

各区市町村英語教育研究部部長会・幹事会 8月24日(月)  
場 所:港区立赤坂中学校  
講 演:「新学習指導要領全面实施に向けて」講師:根岸雅史先生

全英連東京大会 10月17日(土)・18日(日)  
場 所:第一日 日本大学文理学部百周年記念館  
第二日 日本大学文理学部

関ブロ埼玉大会 11月13日(金)  
場 所:所沢市  
テーマ「国際社会に生きて活躍する心豊かな日本人の育成」  
ー実践的コミュニケーション能力の基礎を養う指導・展開ー

英語学芸大会 12月6日(日)  
会 場:東洋学園大学

## ＜ 役 員 紹 介 ＞

役 職	氏 名	所 属 校	職 位
会 長	井 田 宗 宏	東大和市立第二中学校	校 長
副 会 長	竹 下 賢	板橋区立板橋第三中学校	校 長
"	清 水 研一郎	江東区立南砂中学校	校 長
"	飯 島 光 正	豊島区立西池袋中学校	校 長
"	廣 田 幸 男	小平市立第四中学校	校 長
"	牛 島 順 子	港区立赤坂中学校	校 長
"	重 松 靖	国分寺市立第三中学校	校 長
"	阿 字 宏 康	板橋区立西台中学校	校 長
"	石 鍋 浩	足立区立新田中学校	校 長
"	醍 醐 路 子	豊島区立駒込中学校	校 長
総 務 部 長	飯 島 光 正	豊島区立西池袋中学校	校 長
経 理 部 長	牛 島 順 子	港区立赤坂中学校	校 長
調 査 部 長	重 松 靖	国分寺市立第三中学校	校 長
事 業 部 長	横 山 達 也	多摩市立和田中学校	教 諭
研 究 部 長	北 原 延 晃	港区立赤坂中学校	教 諭
出 版 部 長	池 田 武 男	西東京市立田無第四中学校	副校長
P T 部 長	石 川 賢 司	墨田区立錦糸中学校	副校長
会 計 監 査	大 野 容 義	青梅市立第一中学校	校 長
"	稲 葉 秀 哉	板橋区立赤坂第二中学校	校 長
"	和 田 文 宏	狛江市立狛江第三中学校	副校長

### ●○○中英研ホームページ○○●

中英研の動向、情報、をお知らせいたします。ぜひ、下記URLにアクセスしてください。  
「中英研だより」もいち早くご覧いただけます。

<http://www.chueiken-tokyo.org>

# コミュニケーションテストを実施します！

授業はコミュニケーション中心になったのに、テストは相変わらず文法中心…これでいいのかな？

生徒達の立場にたったテストって出来ないものかな…。

このような疑問をもたれた先生方、是非一度、都中英検調査部の「コミュニケーションテスト」を採用してみてください。今年度も下記のように、実施します。

## 記

### 1. コミュニケーションテストの目的と特徴

- ① 2・3年生の9月末までの履修範囲で、各領域別に到達度を測り、東京都全域で実施し、全都内参加校の平均点を示すことのできるテストです。
  - ② 「テスト問題は授業の裏返し」、「評価は授業の道しるべ」と考え、コミュニケーション授業の内容を生かし、実際の言語の使用場面での運用力を測ります。
  - ③ 5領域別に、何を測るかというねらいを明確にして問題を作成するので、観点別評価をつける時に評価材料となります。
    - 5領域 Listening, Reading … [理解の能力]
    - Writing … [表現の能力]
    - Grammar, Vocabulary … [言語や文化についての知識・理解]
  - ④ 領域別に結果が診断されるので、生徒の反省点・指導の改善に役立ちます。
  - ⑤ 実際の生活場面を考慮し、そこで使われている言語をできるだけ多く扱います。また、自らの考えを表現する文は複数の解答許容範囲を設けています。
2. 対象学年 2年・3年生
  3. 出題範囲 原則として、9月末までの履修範囲とする。（原則として都内で使用されている主要教科書の言語材料に共通したものから出題）
  4. 実施期間 10月上旬～11月上旬
  5. 所要時間 50分（リスニングテスト10分前後を含む）
  6. 送付資料 生徒へ 成績個人表（観点別評価も）、学習の手引き  
先生へ 出題のねらい、参加校の都平均点・分布表、結果報告書
  7. 申込期間 5月下旬～9月中旬
  8. 申込方法 申込書を送ってください。（都交換もしくはFAXで）

送り先  
問い合わせ先

〒184-0011 小金井市東町1-5-33  
小金井市立東中学校 副校長 刀根 武史 宛  
TEL. 042-383-1163 FAX. 042-382-0403

9. 代 金 一人280円  
（内訳・問題作成・答案処理・集計や分析・録音・報告書作成など）
10. その他 送金方法・事後処理などは参加校が決定後お知らせします。

次号では「明日の授業にすぐに役立つ」実践紹介をお知らせしたいと思っております。ぜひとも、実践紹介を出版部までご紹介ください。

ご連絡先：西東京市立田無第四中学校 池田 武 男（中英研出版部長）  
TEL: 042-465-6113 FAX: 042-469-2181 Mail: j-tanas4@nishitokyo.ed.jp